

# 週報 第3328回

会長 杉本 憲一 副会長 中 透  
幹事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



## 今週の例会 (2026年3月6日) 第3328回

### ■ プログラム

クラブフォーラム 山本 博章 親睦活動委員長

### ■ 次週のプログラム

3月13日: 卓話担当 釜野 典子 会員  
卓話講師 泉大津警察署  
交通課長 東 喜孝 様

### ■ 今後の予定

3月20日: 定款の規定により休会

### ■ 祝 誕生日

瀧谷 達(12日)

### ■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

### 今月の歌

#### 早春賦

春は名のみ 風の寒さや  
谷のうぐいす 歌は思えど  
時にあらずと 声もたてず  
時にあらずと 声もたてず

### ■ 先週の例会

#### 会長の時間



杉本 憲一 会長

[2月6日 ロイター] 世界保健機関(WHO)は6日、  
 Bangladesh北部で1月に致死率の高い「ニパウイルス」に感染した女性が死亡したと発表した。Bangladeshではほぼ毎年ニパウイルス感染症の症例が報告されているが、今回の症例は隣国インドで確認された2件の症例に続くもので、アジア地域ではすでに空港での検査が強化されている。WHOによると、Bangladeshの患者は40-50歳で、1月21日にニパウイルスに一致する症状を発症。発熱と頭痛に続き、唾液の過剰分泌、見当識障害、けいれんなどが見られた。患者は1週間後に死亡し、その翌日にニパウイルスへの感染が確認された。この患者には渡航歴がなかったが、生のナツメヤシの樹液を摂取していた。患者と

接触した35人は全て経過観察中で、ウイルス検査では陰性が確認されている。また、現時点で新たな症例は確認されていないという。ニパウイルス感染症は主に感染したコウモリに汚染された果物などの製品を介して広がる。致死率は最大75%とされるが、人から人への感染は比較的まれだ。WHOは、国際的な疾病拡散リスクは低いと判断しており、現時点の情報に基づけば渡航や貿易の制限は推奨しないと述べた。

### 【ニパウイルス】

ニパウイルス感染症は、ニパウイルスに感染することにより起こる感染症。日本では感染症法における四類感染症、家畜伝染病予防法における届出伝染病であり、対象動物はウマ、ブタ、イノシシ。

### 発見の経緯

1997年から1999年にかけてマレーシアで3回の原因不明の脳炎の流行が確認された。症状は日本脳炎感染と類似しており当初は日本脳炎の流行と判断されていたが、蚊による媒介と判断できない点がある(ブタに直接接触した人のみが感染している)、日本脳炎ワクチン接種者にも感染者が出ているなど、日本脳炎と明らかに異なる点があることから詳しい調査が行なわれ、新種のウイルスによる感染症であることが確認された。

当初、このウイルスはヘンドラウイルスとの配列類似性が高いことから暫定的に「ヘンドラ様ウイルス」と呼ばれていたが、ウイルスが分離されたバル・スンガイ・ニパ村の名を取って、1999年4月にニパウイルスの名が付けられた。

### 特徴

ブタを媒介として人に感染するため、養豚農家の発生が多く見られる。自然宿主はヘンドラウイルス同様オオコウモリであると推測されており、コウモリからブタを介してヒトに飛沫感染するものと思われる。オオコウモリからの直接感染も指摘されている。ヒトでの症状は脳炎を主徴とし、死亡率は高く発病者の致死率は50%に達する。ブタでは咳、呼吸器症状を示す。

### 主な発症例

感染動物の生息域であるバングラデシュやインドでは、2001年以降、ほぼ毎年患者が報告されている。主な感染例は次による。

・2018年-インド、ケーララ州にて、5月22日までにニパウイルスにより5人が死亡。看護婦など感染が疑われる死亡者を含めると12名。州衛生当局者は取材に対し、「州北部に住む家族5人が死亡した。このうち1人が家の敷地にある古い井戸を掃除していて、感染源と

みられるコウモリと接触した」と説明。

### ワクチン

ニパウイルス感染症に有効なワクチンは、まだ開発されていません。

### 日本発のニパウイルスワクチン、4月に臨床試験へ発症予防に期待

2/12(木) 6:00配信 朝日新聞

致死率の高いニパウイルス感染症の発症を防ぐワクチンの開発が、日本発のプロジェクトで進められている。プロジェクトを進めるのは、国産ワクチン開発の司令塔、先進的研究開発戦略センター「SCARDA(スカダ)」。4月にベルギーで臨床試験を始める予定だ。ワクチンは、弱毒化した麻疹(別名:はしか)ウイルスにニパウイルスの遺伝子を組み込む「ウイルスベクターワクチン」。体内で、ニパウイルスの一部のたんぱく質が作られ、免疫反応を起こす。本物のニパウイルスに感染したときに、素早く免疫反応を起こし、発症を予防するねらいだ。麻疹ウイルスは、一生続く強い免疫反応を起こすことが知られている。このため、弱毒化させた麻疹ウイルスは、はしかワクチンとして広く使われている。

### 幹事報告

細川 嘉則 幹事

なし

### 委員会報告

- 同好会から 一春を味わう一日ー ということで、2月28日(土)が締切りになっておりますが、3月中頃までは受付しております。現時点で25名の募集をしておりますが、参加表明をして頂いている方はちょうど半分くらいです。ぜひビールファンの方も参加頂ければと思っております。クラブのラインの方で参加表明して頂くか、これまで通り事務局に申し込んで頂いてもかまいませんのでよろしくお願い致します。(細川 嘉則 幹事)
- 本日例会終了後、みやびの間におきまして、70周年実行委員会を開催致しますので、委員会メンバーの方ご出席よろしくお願い致します。(松内 俊夫 70周年実行副委員長)

## ■ ビジター

なし

## ■ 出席報告 会員数40名 出席免除 0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
2/27	34名	6名	—	85.00%
2/13	33名	7名	1名	85.00%

## ■ メークアップ

榎本(2/25 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

## ■ ニコニコ箱

- ・本日 松内会員、卓話よろしくお願ひします(杉本)
- ・松内会員、本日の卓話よろしくお願ひいたします(細川)
- ・松内様、本日の卓話よろしくお願ひします(川崎)
- ・本日卓話させて頂きます。宜しくお願ひ致します(松内)
- ・お誕生日のお祝を頂き有難うございました(根尾)
- ・例会欠席のおわび(小野寺)
- ・早退のお詫び(原)
- ・早退のお詫び(櫻井)

ニコニコ箱合計	15,000円
累計	474,500円

## 先週のプログラム



卓話担当 松内 俊夫 会員

ミラノ・コルティナオリンピック終わりました  
朝目が覚める4時くらいから観てましたが幾度となくウルウルとしてしまいました  
特にスノーボード良かったですね ビッグエアー金銀 荻原ひろと君ギネス6回転半(2340度)僕も30年弱前まではスノーボードしていました  
波乗りもしてたので走行距離年間5万キロ車で走ってました  
しかしながら結婚して子供が出来ていけなくなりました  
30代40代は酒を飲んでばかりで趣味もありませんでした  
ある時気が付けば50歳手前人生の先が見えた時に1年にひとつずつ新しいことをしようと思いました  
50歳代になって新しいことを一年ごとに1つずつ金融投資・DJ・心理学の勉強 何故始めたか?理由はDJは音楽好きで他人を楽しませる趣味を・金融投資は自分の遊ぶ金は不労所得で賄う為心理学は自分を知

るため心理学を学んだことにより生きることが少し楽になりました。

このことは前回卓話の時も申しましたがよく考えたら来年60歳になります

10年で早いですよね

1年半くらいまえからパーソナルジムに通ってます  
元々以前より筋トレ・トレーニングをしてましたが2年に1回くらい体を壊してました

そんなこともありちゃんとトレーニングを教えてもらおうというのと来年60歳還暦なのですが還暦迄に人生最後に体をでかくしようと思いました

以前パーソナル行く前からの私のモーニングルーティンは朝4時過ぎに起きて1時間前後トレーニングして風呂入って、朝ごはん食べて、モーサテみて、朝7時頃に会社出勤といった感じです。トレーニングは週最低4日多い時は週7日で毎日部位等は変更して夜は20時ころに就寝

パーソナルジムは家から近いところの条件で調べたまま「ネービーフィット」という松ノ浜にあるジムに入会しました。パーソナルジムということでやはり少し高いです。僕は16回15万のコースです。

1回に計算すると約9000円です。大阪市内や東京でしたら1時間2万とか5万とか普通にありますので場所代ということもありますが格安だと思います

ここのいいところは当然トレーニングメインですがボディメンテナンスもしてくれる点です

ここにきてから大きく体を壊したこともなく整骨院にも行ってません

それを考慮すると今のところ僕にとってはお得なジム

だと思えます

ちなみに体は体重が増えたこともありシャツ2サイズくらいでかくなりました

トレーナーは30歳です。泉大津ロータリーに入れてくれませんかときかれましたがお断りしました

今日の本題ですが昨年末に正業であります毛布製造業の松内清毛織を廃業いたしました

一昨年末に廃業を決断しその後父親アキオが昨年4月に逝去

あと2年くらいは更に規模縮小して出来なかったことは無かったのですし、私来年で60歳還暦なのでそこまでとは思いましたが気持ちが切れてしまいました

何が正解かはわかりませんが

今現在もですが会社の整理親父の整理と整理整理の年でした

廃業したのですが様々な事情でなかなか廃業できない企業様も多い中廃業しても何とか生活できる現状はご先祖様に有難く感謝しなければならない事だと感じてます

現在の建物は昭和末期に建てられました

今回このタイミングで今まで一度も仕事の話をしなかったので一回だけでも話しをしないとバチが当たると思い少しだけお話いたします

一応弊社は明治18年頃には松内工場として創業しておりました

初代は松内太助でした当時は赤ゲットと言う輸入の赤い羊毛のブランケットがはやりました

それを真似して羊毛は入らなかったのも牛の毛と綿を紡績した糸で毛布を作りました

なかなか詳しい文献がありませんが明治15、16年には大阪で泉大津以外の場所で牛毛布を製織したという記録はありますがまともな製品としては流通しなかったようです

1995年阪神大震災の時に実家の全壊したボロボロの納屋から2代目為吉さんの日記「為吉日誌」が見つかりました。織編館と父アキオで解読し「おほつ研究」という書物に掲載されました。太助さんの事はあまり分かりませんが実家にある第3回内国博覧会の賞状には松内太助牛毛布3枚と書かれています

松内為吉を牛毛創生者としながらも前山重次郎氏という説ある

昭和7年発刊の「大津町志」には父太助が創生した様に解される記述もある

この点は両者の共同と言うこともありえます

但し牛毛布の品質改良が多く為吉の努力によるものであろうことは確実である

世は無常であります 形あるもの無くなっていくのが世の常で避けることができません

廃業したのも致し方ない事です 先祖には申し訳ない気持ちで一杯ですが

残っておられる糸への会社にはなんとか存続して泉大津の繊維の火を消さないでほしいと切に願います